

■相互理解と接点発見に基づく「混ぜて組み合わせる」ためのワークシート

名前： _____

【1】 紹介事例概要
(事例提供者名： _____)

【2】 自分の立場から紹介事例に対する接点等
(■接点等＝共通点、関心があること、関われそうなこと、支援や貢献ができることなど)

【5】 混ぜて組み合わせる中から出てくる可能性のポイント整理

×

=

【3】 他のメンバーの立場からの紹介事例に対する接点等

① (_____)

② (_____)

③ (_____)

④ (_____)

【4】 自分と他のメンバーとの接点等

×

×

=

×

×

=

×

×

=

×

×

=

【6】 事例提供者からのコメント

【7】 全体振り返り (自分の気づきや学び、これからのアクション、感想など)

○ワークの進め方例 (5人1チームの場合/1件90分程度)

【1】 メンバーの中の1人が自分の事例の概要を紹介する。(5～10分程度)

【2】 自分の立場から紹介事例に対する接点等を考えて記入する。(5～10分程度)

【3】 参加者全員から各々の接点等を紹介し合って、他のメンバーの立場からの接点等のポイントを記入する。(20分程度/5人)

【4】 他のメンバーの立場からの接点等に対して自分の立場からの接点等を記入する。(10分程度)

【5】 参加者全員で紹介事例に対して「混ぜて組み合わせる」中から出てくる可能性のポイントを対話しながら整理する。(20分程度/5人)

【6】 事例提供者から混ぜて組み合わせた結果へのコメントを話してもらおう。(5分程度)

【7】 参加者全員で対話した中での気づきや学び、これからのアクション、やってみた感想などを出し合って振り返る。(10分程度/5人)